

予防教育 実践2

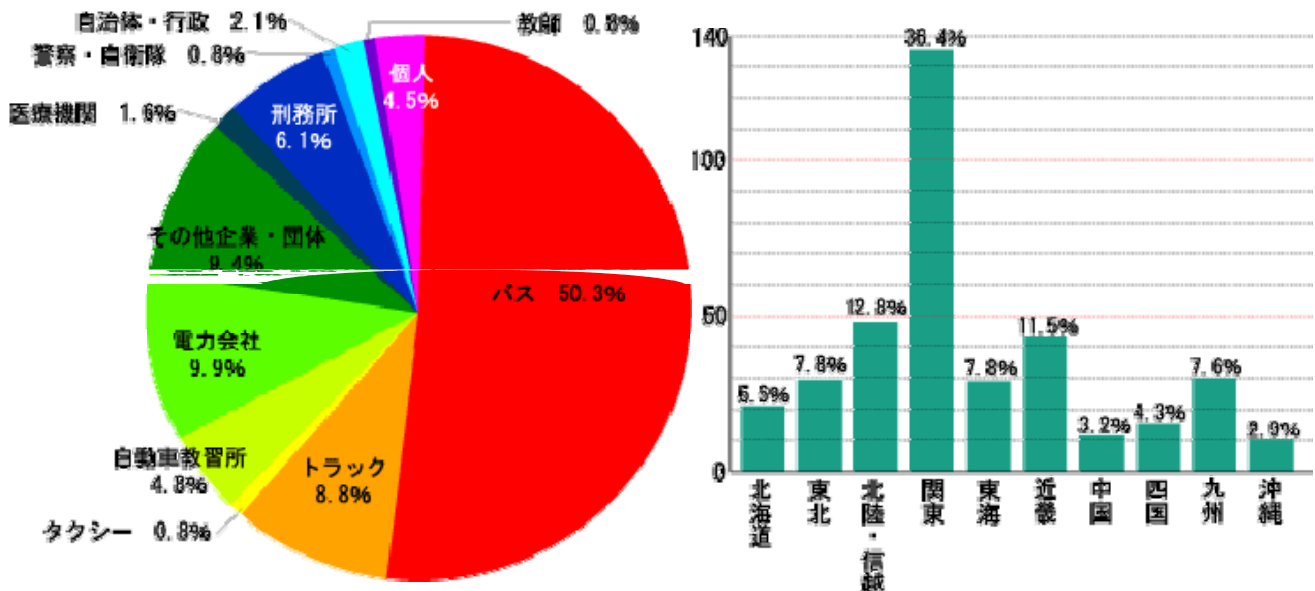
職場や地域に教育の担い手をつくる
まずは3年で1000人を！

飲酒運転防止 インストラクター養成事業

飲酒運転防止インストラクター養成事業

主催：ASK(飲酒運転対策特別委員会) 助成：日本損害保険協会
後援：内閣府／警察庁／国土交通省／厚生労働省／全日本交通安全協会／日本バス協会／全日本トラック協会／全国乗用自動車連合会／日本交通安全教育普及協会／全日本指定自動車教習所協会連合会／全国自動車運転教育協会

08年度 1期生(374名)の内訳



ASK飲酒運転防止インストラクターとは？

「飲酒運転防止インストラクター」とは、職場や地域での対応を心得た上で、DVDを使った参加型研修を実施し、アルコールの基礎知識や節酒の方法を広める人。

認定までの流れ

ステップ1

飲酒運転防止通信スクール
【管理者コース】の受講

ステップ2

地区別〈スクーリング〉への参加

ステップ3

〈実践報告シート〉の提出



認定



DVDを使った講座の中身

【講座1】アルコールの「1単位」と体質

アルコールと体質／体質ごとの注意点／
アルコールの1単位と処理時間／3単位飲酒のリスク／
酒気帯びのケーススタディ／健康日本21

【講座2】「酔いの正体」と運転への影響

体内でのアルコールのゆくえ／酔いの段階と「脳のマヒ」／運転への影響／
微量でもこんな影響が／飲酒運転による事故

【講座3】「寝酒の落とし穴」と「節酒のコツ」

日本人と寝酒／寝酒の落とし穴／アルコールなしの安眠のためのアドバイス
／プロ運転手の節酒のコツ

【講座4】「アルコール依存症」の予防と早期発見

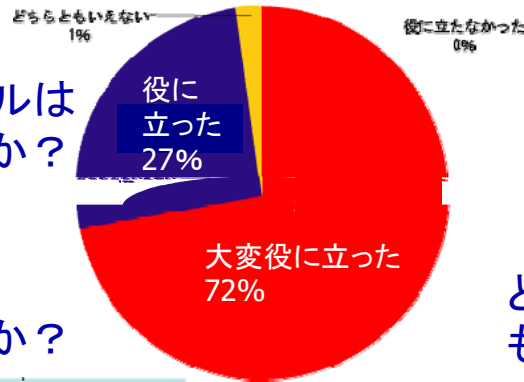
薬物としてのアルコール／依存症になりやすい飲み方／依存症の進行プロセス
／自己チェックCAGE／回復者からのメッセージ



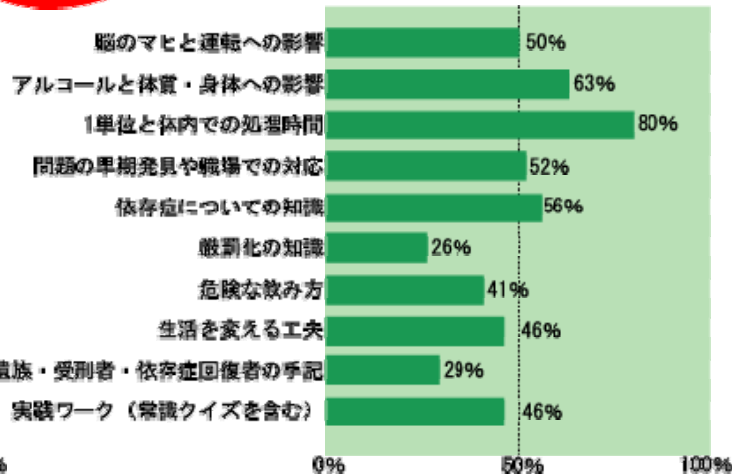
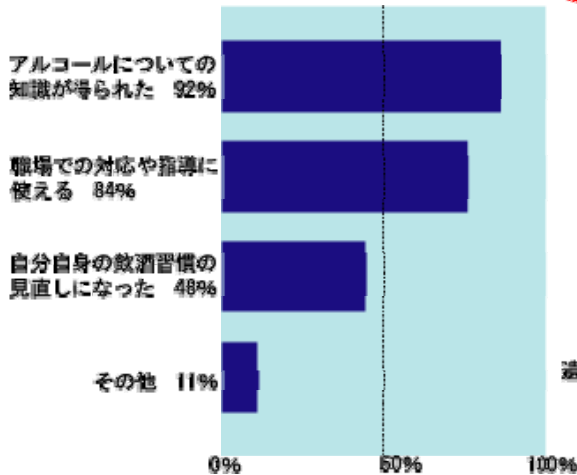
【ステップ1】通信スクール

この通信スクールは役に立ちましたか？

どういうふうに役に立ちましたか？



とくに役に立ったと思うものはなんですか？



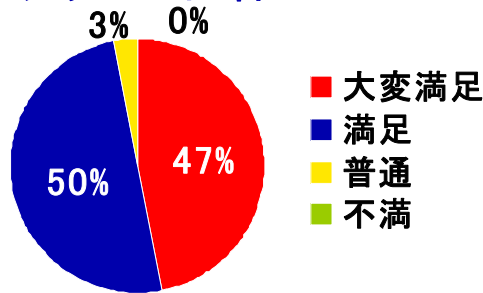
【ステップ2】スクーリング



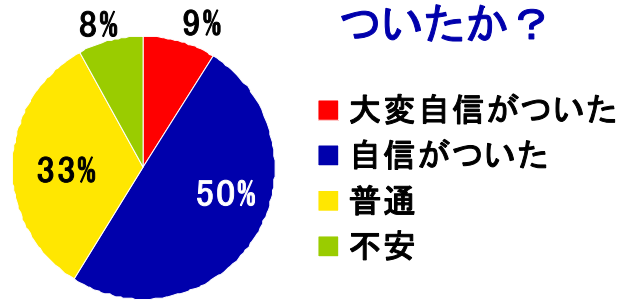
- 9月（5回） 八王子2回・船橋2回・川崎
- 10月（7回） 三島・大阪・神戸・長野2回・名古屋・広島
- 11月（4回） 札幌・仙台・高松・那覇
- 12月（3回） 福岡・東京2回

【ステップ2】スクーリング

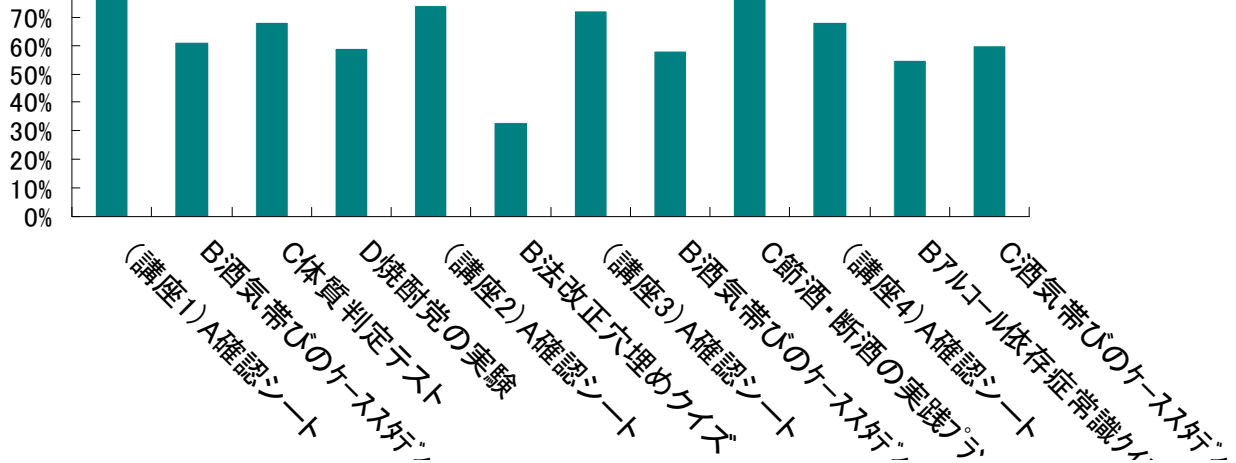
プログラムの内容について



インストラクターとして自信が
ついたか？



使いやすいと思った教材は？(DVD以外)



【ステップ3】実践報告→認定

ASK認定
飲酒運転防止インストラクターの人数



インストラクターが行なった飲酒運転防止の認定時研修の参加者は**2,941**名です。

運送会社Kさんからの実践報告

- 全員がトラック乗務員であり、飲酒運転の危険性はよくわかっていました。ただし、前の晩に飲酒した量がゼロになるまでに思ったより時間がかかることは知られていませんでした。研修によってそのことを理解してもらえ、「今日から飲む量を減らします」などの意見も出ました。
- 安全大会のあとに定年者の送別会がありました。乗務員の中にビール1杯だけの人だったので、「なぜ飲まないの？」と聞くと、「分解に**1単位4時間**かかるので、明日仕事がある自分はこの**1杯**でやめておきます！」と答えました。いつも立てないほど飲んでいた人が、このようなことを言ってくれて、びっくりしました。
- 当然、次の日仕事の人への無理な酒注ぎはなく、きっちり**2時間**の送別会でした。
- 運転が職業の私たちですので、定期的に研修を開き、全講座を学習し、飲酒運転防止に努めてまいります。このたびは、素晴らしい養成講座をありがとうございました。